

詩集

母

その愛は今なお



矢野栄蔵

詩集



その愛は今なお

矢野栄蔵

矢野栄蔵（日本音楽著作権協会々員）

昭和14年4月18日 兵庫県西宮市に生れる

関西大学文学部在学当時より詩壇に登場

主な著書に詩集『母』『おやじと息子』^{いろ}

『人生逆立ち詩集』『愛犬アド』『真珠の彩』

長篇小説『恋路海岸』 短篇小説『ある青春』

ドキュメント『駆けゆくもの』他30数冊

所属団体『西宮中央ライオンズクラブ』

『社団法人西宮青年会議所OB会』他

昭和55年9月兵庫県知事より『のじぎく賞』受賞

平成5年6月内閣総理大臣より『紺綬褒章』受章

詩集 母 その愛は今なお

著者 矢野栄蔵

平成四年二月十七日 新装版発行

平成六年七月二十日 第二刷発行

発行 株式会社 矢野企画室

印刷 株式会社 小西印刷所

製本 須川製本所

（非売品）

昭和四十五年二月十七日

その日は朝から快晴であつた
そして

春なかばの気温であつた
それにもかかわらず

田のからだは冷たくなつていつた
無念の五十二才であつた



母の遺体と共に

家路へと急ぐ

高速道路での西日が

やけにまぶしく

まぶたを

さらに熱くした



西宮市役所の交差点で

赤信号のため

寝台自動車^が止った

幸福^がそんな家族^が

乗りあわせている自動車と

横に並んだ

無性に腹^が立った



スミレ

戦後まもなくから

住みなれた店舗住宅の前で

一時停止をしたのち

母の知らない小さなマンションへと向う

狭くて困っていたところ

大家さんの配慮で

真向いの空室を借りることが出来

母と一緒に

二泊三日のお世話になれた

その大家さんには今も感謝している



モクレン

妻が用意した綸子りんずの布団に

母は横たわった

入院中の半年間

ぐっすり

眠れた日は無かったであろう母の

かすかな寝息が

聞こえるようだった



ボタン

母の好きであつた花を飾り

好物の果物を供えた

見ることも食べることも

出来ないことがわかつていながら

供養になるものと

信じて



リンゴ

現在いまは

大本山妙心寺管長の

海清寺老大師に

枕経と説法をいただいた

一時間近くも正座をしたのは

何年ぶりのことだったろう

ハナショブ

